

北総モラルアップ通信

チーム北総 思いを伝えるチーム ～和・輪・話～



新学期が始まり、3か月が経ちました。新しく着任された先生方も職場の雰囲気慣れてきている頃ではないでしょうか。昨年度の学校訪問では、モラルアップ委員会において、不祥事防止の取組だけでなく、職員間の風通しがよくなるような工夫した取組も多く見られました。人事異動による新しい風を効果的に取り入れ、アップデートを目指してください。

その一助として、本年度も北総教育事務所では、「北総モラルアップ通信」を発行します。ぜひ、校内研修等でご活用ください。

令和5年度、県内における教職員の懲戒処分は39件（監督責任13件除く）でした。子供たちの尊厳を守るために、また、不祥事根絶のために、今、何をしなければならぬのか本気で考えなければならぬときです。

今月のテーマ「不祥事根絶を目指す」

チーム北総 今年度のキーワードは、

トリプル ☆ CHANCE CHANGE CHALLENGE

ピンチをチャンスに新たな教育活動に向けてチェンジ

安全・安心で信頼される学校づくりと信頼に応える教職員を目指してさらにチャレンジ

Let'sCheck!

以下の内容は、不祥事防止のための基礎となることです。子供たちの尊厳を守るために、今の状況について再度確認をしてください。

① 不祥事根絶を回す職場環境づくり。

- 誰も孤立させないために率直なコミュニケーションを図り、職員がお互いを尊重できている。
- 違和感に気づき、相談し合える雰囲気ができている。

② 不祥事防止に係る全体計画及び年間計画の計画的・継続的な点検評価。

- 実態に即し、積極的に参加したくなる研修計画を作成している。
- 職員一人一人の心に響く研修を目指している。

③ 他人事と思わず、当事者意識を持つ。

- 自分自身の子供への言動は、大人同士でも違和感のない言動といえる。
- 「自分の言動が誤解を招く可能性がある」ということを自覚している。
- 「いつでも、誰でも、どこでも不祥事は起こりうる」という意識をもっている。

④ 想像力を働かせる。

- 自分が不祥事を起こしたら、たくさんの人にどれだけ辛い思いをさせるのか想像できる。
- 自分の発言や行動は、家族、児童生徒、保護者の理解が得られるかをイメージしている。
- 見つからなければよいと考えていない。



★効果的な研修実践例の紹介★

県教育委員会では、不祥事根絶に向けて教職員が自己の考えの甘さがないかを分析するためのチェックシートを作成しています。令和6年3月15日付け教総第1772号、教職第1117号で通知をしていますが、当事者意識を持ち、自身の言動を振り返るためにも有効な手段となるはずで。

県教育委員会のホームページにも紹介されていますので、学校の実態に応じて研修会等でご活用ください。

URL : <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/syokuin/kanri/checksheet.html>



臨時的任用職員不祥事根絶研修会

6月4日(火)香取合同庁舎、5日(水)プリミエール酒々井にて、
臨時的任用職員不祥事根絶研修会を開催しました。

①「不祥事を根絶するために」 ②「危機管理の対応について」
というテーマで講義・演習を約2時間行いました。

<参加者からの意見を紹介します>

「(出勤時間にゆとりを持つための工夫)家の時計を10分進めている。家族とともに時間にゆとりをもつ意識が高まっている。」

「臨時的任用職員として勤務する上で、何かあったときに相談しやすい職場環境であることが大切だと感じる。すぐに相談できることは、安心して働くことにつながる。」

紹介したのは一部ですが、多くの意見や感想を発言して下さった参加者の皆さんのおかげで、一人一人が不祥事を他人事とせず当事者意識をもって取り組むことができ、有意義な研修会となりました。

考える視点

- ・大人同士で行っても問題ないか。
- ・保護者や第三者に説明できるか。

今、このモラルアップ通信を読んでいる皆さんも自らの言動等について、左の視点でまず確認してみてください。
職場で違和感を感じた時には、仲間のために勇気をもって声に出し、子供たちのために良質な教育環境を整えていきましょう。



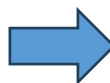
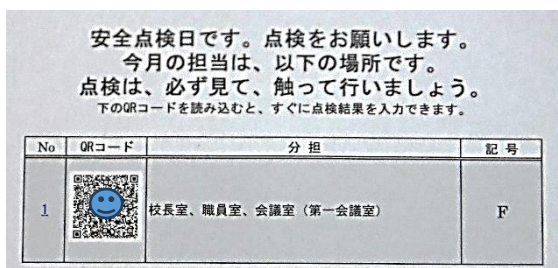
💡💡 働き方改革のヒント 💡💡

各学校で行っている安全点検を工夫している学校の取組を紹介します。

この学校では、安全点検の効率化を図るため、二次元バーコードを活用していました。

※具体的なメリット

- ①担当の集約が楽になった。
- ②点検箇所が多くても、携帯、タブレットを持っていけばよいため、作業がしやすい。
- ③不具合箇所を写真で報告することが可能となった。



6月		安全点検総括表		点検日
点検箇所	確認箇所	確認結果	対応等	点検日
校長室	①	確認済		6/10
職員室	②	確認済		6/10
会議室	③	確認済		6/10
第1点検室	④	確認済		6/10
第2点検室	⑤	確認済		6/10
第3点検室	⑥	確認済		6/10
第4点検室	⑦	確認済		6/10
第5点検室	⑧	確認済		6/10
第6点検室	⑨	確認済		6/10
第7点検室	⑩	確認済		6/10
第8点検室	⑪	確認済		6/10
第9点検室	⑫	確認済		6/10
第10点検室	⑬	確認済		6/10
第11点検室	⑭	確認済		6/10
第12点検室	⑮	確認済		6/10
第13点検室	⑯	確認済		6/10
第14点検室	⑰	確認済		6/10
第15点検室	⑱	確認済		6/10
第16点検室	⑲	確認済		6/10
第17点検室	⑳	確認済		6/10
第18点検室	㉑	確認済		6/10
第19点検室	㉒	確認済		6/10
第20点検室	㉓	確認済		6/10

それぞれで報告した場所の点検結果がすぐに一覧に反映されます。

今回は、安全点検を工夫している学校について紹介しました。その他にも様々な業務改善に取り組まれている学校がたくさんあります。ぜひ、お互いの情報を共有していただき、働きやすい職場環境づくりに励んでいただければ幸いです。

☆コンゼツ・ノ・ヒント☆ 「お金」について

皆さんは学校で扱われている「お金」がどのように処理されなければならないか理解をしていますか。教育活動を円滑に進めるために、学校では様々な公費・私費等「お金」の出入りがあります。多くの学校が、現金を学校におかないシステムづくりを進めています。その一方で、目に見えないお金の処理はチェック機能をどう働かせるのかも課題の一つです。担当者任せにせず、複数の目でチェックしていくことが必要です。

学校徴収金マニュアルは実態に合わせ見直しを行い、適正な会計処理に努めていることと思います。変更点については、全職員が正しく共通理解ができているかの確認をお願いいたします。